

1260 | 版画 VII

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

永井研治教授、遠藤竜太教授、高浜利也教授、今井庸介講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、渡邊洋講師

授業の概要と目標

各自の学習プランを基に、独自の版表現の確立を目指し、テーマや表現手法をより明確に示す研究が求められる。プランやテーマなど、この先にある「卒業制作」の軸となる部分が不明確な場合はここで再度、熟考しなければならない。美術として優れた表現とはどのようなものなのか。版を介して何を表現しようとしているのか。様々な課題に向かって各自が真剣に取り組み、確認作業をしていくことであろう。それは表現者としての基礎であり、最も重要な姿勢である。これまで積み重ねてきた制作をもとに、卒業制作を見据えた心の準備と、充実した制作を望む。通信授業、面接授業ともに、「卒業制作」で選択する版種を選び制作する。

課題の概要

○通信授業課題「自主制作 2」

1-1 自由テーマによる制作。4 版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）の中から卒業制作で選択する 1 版種を選び、ドローイング、版画作品を制作する。

○面接授業課題「自由テーマによる制作」

1-1 自由テーマによる制作。4 版種（木版、リトグラフ、銅版、スクリーンプリント）の中から卒業制作で選択する 1 版種を選び、版画作品を制作する。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『版画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成 29 年度』の「版画Ⅶ」、教科書『新版 版画』を参照し、制作を進める。

[面接授業]

第 1 日	午前：前提講義及びドローイング指導	午後：制作（個別に指導）
第 2～5 日	午前：制作	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 4 年次

[履修条件] 「版画Ⅵ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること（『学生ハンドブック』p.049 の特例を除く）。

[備 考] 油絵学科版画コース 4 年次必修科目。

「版画Ⅵ」を同時に履修する場合は、「版画Ⅵ」のスクーリングを先に受講すること。
通信授業を受講するにあたり、選択版種に応じて設備・機材を使用できる環境にあることが望ましい。

教材等

教科書：『新版 版画』（武蔵野美術大学出版局 2012 年）

学習指導書：『版画Ⅵ・Ⅶ／卒業制作 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）